



聖イグナチオの遺産を活かす年



イエズス会日本管区長

デ・ルカ・レンゾ

聖三木図書館を様々な形で支えてくださっている皆様に心から感謝いたします。

今年の5月20日から来年の7月31日まで、世界のイエズス会とその関係者は、聖イグナチオがパンプローナで負傷して回心に導かれてから500周年を迎えることを記念しています。聖イグナチオの回心は本人にとっては言うまでもなく、多くの人にとっても恵みをもたらす出来事でした。病床での長い時間は、彼にとっては当時まだ考えたことのない霊的な事柄について深める機会になりました。体こそ動かさなかったものの、心での長い旅が始まりました。考えてみれば、ケガをして床に就くこと自体はそれほど珍しい体験ではありません。しかし、聖イグナチオにとっては、生涯に関わる大きな変化につながりました。おそらく、彼の場合、身体の変化より、精神の変化に豊かな感受性をもっていただけだと思います。聖イグナチオは自分の心の中で起

こる「霊の動き」やその識別を通して「すべてを新しい目で見える」体験をしました。それは神から与えられた恵みではありませんが、その恵みを忠実に受け入れ、発展させたことが聖イグナチオの偉大さを物語っています。



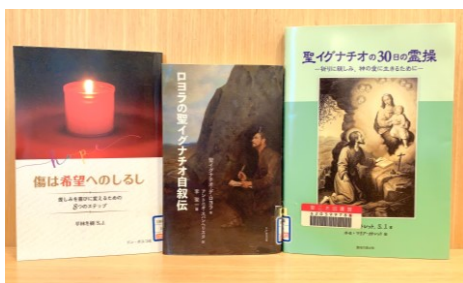
パンデミックによって、世界中の人々は様々な活動を控えるように強いられています。それを「禍い」として捉えるか、人類の生き方を振り返る「恵み」として捉えるか、私たちの識別にかかわります。聖イグナチオに倣って、この状況こそ、神から与えられた時間であり、その恵みを受け入れて回心するチャンスとすればいいと思います。振り返ってみれば、パンデミックがあつてこそ環境問題の意識が高まり、旅行や移動をしなくても済んでしまう仕事や用事の多さに気づく機会にもなりました。同時に、人間同士の対面でしかできないことへの目覚めにもつながりましたし、家にいる時間が長くなつたからといって、必ずしも人間関係が深まるとは限らない事実を認める体験でもありました。

聖イグナチオの体験を参考にすれば、「できるだけ早く元の生活に戻す」という考えはどうかと思えます。ケガの治った彼が元の生活に戻つたとしても巡礼者や修道者、強いて言えば聖人にもなれなかつたかも知れません。以前の生き方を置いて、新しく示された生活に挑んでこそ彼の回心が現実

的になったと言えるでしょう。パンデミック前の世界に戻すのではなく、私たちがパンデミック後の新しい生き方を目指すならば、人・共同体・国としての回心が実現するのではないのでしょうか。

聖イグナチオは、自身の霊的体験を他人にも応用できるように『靈操』を残してくれました。今年こそ彼の遺産を学び、理解し、深めるよい機会です。『ロヨラの聖イグナチオ自叙伝』にあるような劇的な回心に至らなくても、彼の体験は私たちにとってきつと役立つに違いありません。

聖三木図書館を利用される方々は、読書習慣のある方々だと思います。今年こそ聖パウロ三木たちを霊的に養われた聖イグナチオの霊性を深める恵みを生かしていただきたいと思います。ご自身のみならず、周囲の人々にもきつと良い影響を与えることになるでしょう。聖イグナチオ自身が書いた本や彼を扱う書籍はすでに出版されていますので、ぜひ一読されること、あるいは、新たな感覚で読み直すことをお勧めいたします。このイグナチオ年に、聖イグナチオが残した書物に触れること、少しでもその霊性を深めることこそが一番ふさわしい祝い方になるのではないのでしょうか。聖イグナチオに倣って、神から与えられている恵みに気づき、それを受け入れる素直さを主に願いまししょう。



今季のおすすめ図書

夏の新着図書

2021年上半期の新着図書の一部をご紹介します。

	タイトル	著者
1	サピエンスの未来 伝説の東大講義	立花隆
2	哲学の女王たち もうひとつの思想史入門	バクストン/ ホワイティング
3	キリストの現存の経験	K.リーゼンフーバー
4	世界は善に満ちている トマス・アクィナス哲学講義	山本芳久
5	ヨーロッパ思想史 理性と信仰のダイナミズム	金子晴勇
6	フロイトカリスカ 神と人生をめぐる問い	A.M.ニコライ Jr.
7	「生きがい」と出会うために 神谷美恵子のいのちの哲学	若松英輔
8	宗教と過激思想	藤原聖子
9	宗教と理性をめぐる対話 信仰と懐疑のはざまにて	J.ヒック
10	沈黙 雑音まみれの世界のなか の静寂のちから	ティク・ナット・ハン
11	悟りから祈りへ	鈴木秀子/野口法蔵
12	キリスト教信仰	F.シュライアマハー
13	聖書の経済学 格差と貧困の 時代に求められる公正	R.J.サイダー
14	聖書が語る天使の実像 霊的生活を深めるヒント	カブンディ・オノレ
15	主の母マリア カール・ラーナー に学ぶカトリック・マリア神学	光延一郎
16	神の正義とつくしみ	カトリック京都司教区
17	旧約聖書に見るあがないの物語	小林剛
18	聖書を考える	P.リクール/A.ラコック
19	どう読むか、新約聖書	青野太潮
20	山上の説教を生きる	J.ディア
21	信じる生き方	増田琴
22	ミサ聖祭 聖書にもとづくこと ばと所作の意味	エドワード・スリ他
23	祈りについて	アルフェエフ
24	信仰の神秘	小笠原優
25	聖人祭事紀行 祈りと熱狂の ヨーロッパ写真歳時記	若月伸一
26	愛するアマゾン 使徒的勧告	教皇フランシスコ
27	教皇フランシスコ訪日公式記 録集	カトリック中央協議 会
28	「核なき世界平和」を叫び続け る教皇フランシスコ	山内清海
29	新しい未来を生きるあなたへ の25のメッセージ	竹下節子

	タイトル	著者
30	キリシタン歴史探求の現在と 未来	川村信三
31	世界遺産キリシタンの里 長崎・天草の信仰史をたずねる	本馬貞夫
32	時の階段を下りながら 近現 代日本カトリック教会史序説	三好千春
33	マザーテレサの霊性	R.カンタラメッサ
34	炎の人 ペルー日系人加藤マヌエル神父	大塚文平
35	こころのティースプーン もうひとさじ	J.ガラルダ
36	イエズス会教育の歴史と対話	桑原直己/島村絵里子
37	心の垣根を越えて テゼのプラザー・ロジェ	K.スピック
38	地の塩 世の光として 贖い の愛に生きた賀川豊彦の生涯	栗栖ひろみ
39	あの日、ぼくらは 天の家、独立学園、杉原千畝編	結城絵美子/ みなみななみ
40	人生の訓練	V.R.エドマン
41	アーミッシュの老いと終焉	堤純子
42	アメリカを動かす宗教ナショ ナリズム	松本佐保
43	希望の一滴 中村哲、アフガン最期の言葉	中村哲
44	「逃げおくれた」伴走者 分断された社会で人とつながる	奥田知志
45	無意識のバイアス 人はなぜ人種差別をするのか	J.エバーハート
46	他者の靴を履く	ブレイティみかこ
47	わかちあいの食卓 熊本地震・教会避難所 45日	小泉基
48	本物をまなぶ学校 自由学園	婦人之友社編集部
49	スピリチュアルケアと教会	窪寺俊之
50	父と娘の認知症日記	長谷川和夫/南高まり
51	牧師、閉鎖病棟に入る。	沼田和也
52	ノートルダム フランスの魂	A.ポワリエ
53	パリ・ノートル=ダム大聖堂の 伝統と再生	坂野正則
54	西洋美術とレイシズム	岡田温司
55	美術は宗教を超えるか	宮下規久朗/佐藤優
56	聖母の美術全史 信仰を育んだイメージ	宮下規久朗
57	十六歳のモーツァルト 天才作曲家・加藤旭が遺したもの	小倉孝保
58	バッハ、神と人のはざままで	鈴木雅明
59	句集 神の手	酒井湧水
60	遠藤周作事典	遠藤周作学会

わが命つきるとも

—神父たちのヒロシマと復活への道—

〈国立広島原爆死没者追悼平和祈念館企画展〉

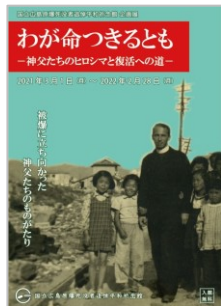
1945年8月6日、広島市の熾町教会と長束修練院で被爆したイエズス会の神父たちは、体験記を通して被爆後の状況を克明に伝えました。熾町教会では救助活動、修練院は野戦病院と化し、医学を学んだアルペ院長のもとで神父、シスターたちは不眠不休で100名近くの被爆者の治療を続けました。

それぞれの場所で何が起き、神父たちが何を体験したか、ヒロシマ復興への道をたどる貴重な映像資料はインターネットで視聴できますのでぜひご覧ください。

(2022年2月28日まで)

<https://www.hiro-tsuitokininkan.go.jp/project/exhibition/>

🔍「広島原爆死没者追悼平和祈念館 企画展」で検索



〈関連図書〉

- 『破壊の日 外人神父たちの被爆体験』
カリック正義と平和広島協議会平和を願う会編
- 『ヒロシマ』ジョン・ハーシー著
- 『ヒロシマを暴いた男』L・M・M・ブルーム著



◆ Topics in Focus ◆

外国につながる子どもたちの貧困と教育

イエズス会社会司牧センター(イエズス会司祭)

梶山 義夫

新型コロナウイルスの感染拡大が続く中で、以前から存在していた社会問題のいくつかがさらに大きな問題となってきている。その一つが、外国につながる子どもたちの貧困である。最近出版された5冊(65~69)を紹介したい。(下段に続く)



	タイトル	著者
65	Q&Aでわかる外国につながる子どもの就学支援 「できること」から始める実践ガイド	小島祥美
66	海外ルーツの子ども支援 言葉・文化・制度を超えて共生へ	田中宝紀
67	オマルとハッサン 4歳で難民になったぼくと弟の15年	V.ジェミスン
68	にほんでいきる 外国からきた子どもたち	毎日新聞取材班編
69	「発達障害」とされる外国の子どもたち フィリピンから来日したきょうだいをめぐる、10人の大人たちの語り	金春喜

(上段より続き) 外国につながる子どもたちの貧困と教育

65 専門家39人が執筆している。外国につながる子どもの現状、日本の学校での受け入れをめぐるQ&A、進路を拓くためのさまざまなケースなどを取り上げている。この分野について考えたい人の最初の一冊。

66 「多様性が豊かさとなる未来へ」を目指すYSCグローバルスクール(福生市)を運営する経験に基づきながら、日本語教育がまったく不十分な中で母語を含めた言語を学ぶ権利をどのように保障していくか、外国人保護者の出産・子育てをいかにサポートするかなどが丁寧に述べられている。

67 ソマリア内戦で父親を殺され、母親と生き別れたきょうだいをめぐる絵本。「ぼくの子ども時代はなかったも同然でした」から始まる。宗教、教育、友人という3つを軸として話が展開している。困難な状況の中で、「神様は、よき計画を立ててくれている」という言葉によって生きてきた希望の書。

68 2018年から約2年間の取材に基づいている。学校に行かない子どもたち、学校で日本語学習支援を受けられない子どもたち、「発達障害」と見なされて特別支援学級にいる子どもたち、ドロップアウトして社会で迷っている子どもたち、居場所を見つけた子どもたちを具体的に描き出している。

69 フィリピンから来た兄弟がどのようにして「発達障害」とされ、支援学校に進学していったかを、二人をめぐる保護者、教員、母語支援員などの10人のインタビューを通して考察している。外国につながる子どもたちの困難な状況を個人の心理的・資質の問題にすり替えて、子どもたちが自立するようにしっかりと支援することなく、日本人のための学校教育システムを維持しようとする問題などを指摘する。社会的視点がはっきりしている良書。

聖三木図書館からのお知らせ

新型コロナウイルス感染拡大防止のためサービスに制限を設けており、ご不便をおかけしております。
緊急事態宣言発出により7月31日現在、当館は臨時休館しております。最新の情報はホームページ
(Facebook)、留守電メッセージにてご確認ください。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

返却

返却期限を迎えた資料は早めのご返却をお願いしています。返却が難しい場合はご相談ください。

返却方法：岐部ホール1F 返却ポストに直接投函
または郵送（郵送方法不問）

送り先：〒102-0083

東京都千代田区麴町6-5-1

岐部ホール2F 聖三木図書館 宛

問い合わせ

お問い合わせは以下の窓口より受け付けています。
サービス状況の確認、調べている事柄に関連する資料の紹介や、調べ物のお手伝いをすることもできます。
気になることがございましたら、ぜひお問い合わせください。

☎お電話から

電話番号：03-3262-0364

受付時間：11:30～16:00

（木曜・祝日・毎月末日休館）

■オンラインフォームから

ホームページからフォームにアクセスし、お問い合わせ内容をご記入ください。

質問によっては回答までにお時間を頂戴する場合がございます。



←問い合わせは
こちらから

貸出

電話またはオンラインフォームにて事前に予約された資料の貸出を行っています。

貸出資料の受け取りは、来館もしくは指定のご住所への郵送（送料は申込者負担）が選択できます。

☎お電話から

お電話で以下の2点についてお伝えください。

- ①貸出を希望する資料（タイトル・著者など）
- ②受取方法（来館または郵送）

予約の可否を確認後、折り返しご連絡いたします。

■オンラインフォームから

ホームページからフォームにアクセスし、必要事項をご入力ください。

ホームページでは貸出について更に詳しくご案内していますので、ぜひご確認ください。



←貸出申込は
こちら



←聖三木図書館
HP(貸出案内)

利用カードの申込・更新

聖三木図書館友の会発行の「聖三木図書館利用カード」（有効期間1年）の新規登録及び更新手続きは、来館せずに行うこともできます。登録をご希望の方はお問合せください。

年会費	一般	2,000円
	学生	1,000円
	賛助会員	5,000円・10,000円

免許証・保険証など（学生の方は学生証）をご提示いただきます。

※臨時休館していた期間につきまして、利用カードの有効期限を延長しております。対象は有効期限が以下の会員の方、延長期間は①3か月、②1か月です。

- 対象：①2020年3月28日～2021年3月27日
②2021年4月28日～2022年4月27日

聖三木図書館報『みき』第11号

イエズス会聖三木図書館

〒102-0083

東京都千代田区麴町 6-5-1 岐部ホール 2F

TEL: 03-3262-0364

ホームページ:

http://www.jesuits.or.jp/~j_seimikibun/

題字:北爪悦子シスター(師イエズス修道女会)